

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その11

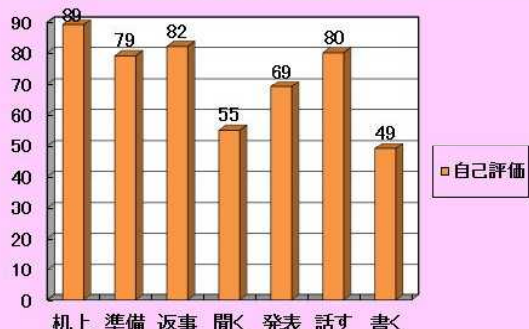
今号は『発達の段階を踏まえた全学級における学習規律・生活規律の統一及び徹底』について紹介します。

本校では、全校統一した「子どもスタンダード7（学習・生活それぞれ7項目：項目は学校便り4月30日号に掲載）」を各教室に掲示し、日常的な指導の継続に努めてきました。

10月に「できていると思う…○」「できていないと思う…×」の二択で、子どもたちが前期を振り返り、自己評価をしました。



前期 学習スタンダード7
全校定着度：自己評価



前期 生活スタンダード7
全校定着度：自己評価



本校では、子どもスタンダード7の確実な定着80%以上を数値目標としています。

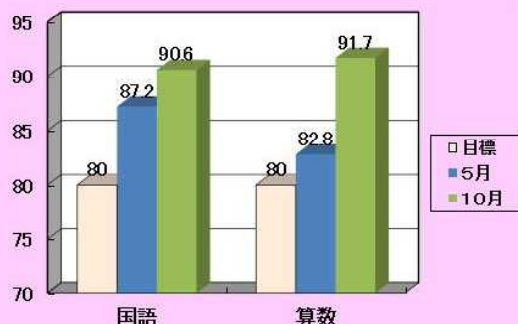
子どもスタンダード7（学習）では「よい姿勢で話し手の方を向いて聞く」「字はいつも丁寧に書く」ことに課題が見られました。ノートに書く字については、9月から、毎月、各学年の「ベストノート賞」を選び掲示することで、子どもたちに「丁寧に書く」ことの意識を一層高めているところです。

子どもスタンダード7（生活）では「挨拶を自分からする」ことや「みんなで使う物を大事にする」ことについて意識して行動していますが「廊下や階段は右側を歩き、ホールも走りません」「自分の仕事は忘れずに行います」が落ち込んでいることが分かりました。廊下歩行については、9月から、毎月1回の「振り返り週間」を設けて、重点的に振り返らせ、子どもたちの意識を高めようとしているところです。

子どもたちが「安心」して学校生活を送るには、落ち着いて学習・生活できる環境を整えていくことが大事だと考えます。

そのためにも、子どもスタンダード7の定着度がより高まり「習慣」として行動できるよう、子どもたちへの指導を工夫・徹底していきます。

26年度 児童アンケートから
「授業は分かりやすいですか？」



話題は変わりますが、本校では日常の授業が子どもたちにとって「分かりやすい」ものになっているか検証するために、児童アンケートを実施しています。（国語＆算数）

「授業が分かりやすい」と回答する児童が80%以上を数値目標としていましたが、5月の時点で国語87.2%、算数82.6%とクリアできたので、「90%以上」に変更しました。

10月に再実施したアンケートでは、国語90.6%（+3.4%）、算数91.7%（+9.1%）と日常的な授業改善の成果が見えてきました。

しかしながら、「授業が分かりやすいですか？」の質問に「いいえ」と回答している児童もいることを真摯に受け止め、全ての児童が夢中になって学び合い、「分かった！」と生き生きと授業に臨む姿をゴールに、よりよい授業づくりに努めていきます。